

支部協びより

第23号

発行所
NTT労組退職者の会
沖縄県支部協議会
沖縄県浦添市城間4-35-2
☎098-870-7101

責任者
稲福政吉

総会のお知らせ

本年も昨年に引き続き、総会への案内を「支部協びより」のみで周知します。御了承下さい。出席の可否はハガキか御電話でお願い致します。

告示

左記の通り総会を開催します。

記

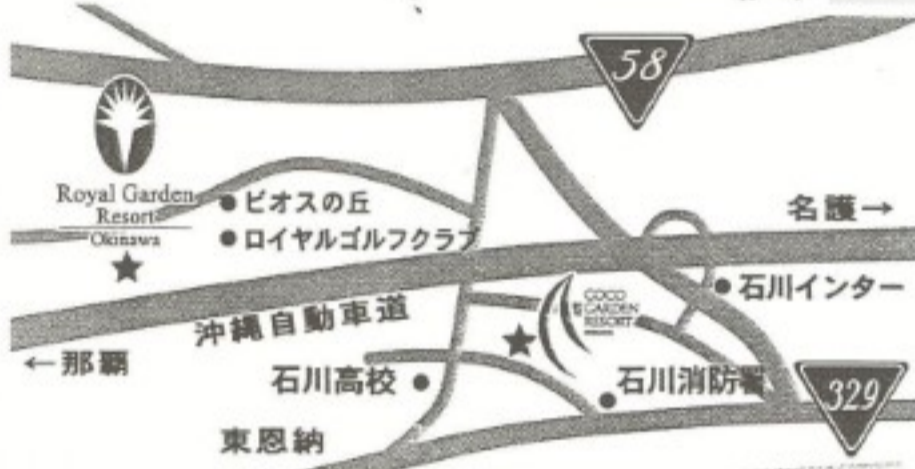
- 一、日時 二〇〇〇年十月二十五日～二十六日
二十五日午後三時三〇分から翌日の午後一時まで、
但し翌二六日はレクです。
- 一、場所 ロイヤルガーデンリゾート・オキナワ
石川市字山城一四六八
☎〇九八一九六四一六一一
- 一、構成 会員
- 一、会費 二〇〇〇円

屋良宣正
NTT労組沖縄支部執行委員長
NTT労組退職者の会沖縄支部協議会会長 稲福政吉

なお出席希望者は十月一八日午後三時までにお知らせ下さい。また、宿泊の可否も合わせてお知らせ下さい。
(予約の都合上是非お願いします。昨年はキャンセルがあつて困りました)

電話で連絡下さる方は毎週月・水曜日午前十時から午後三時までお願いします。☎〇九八一九七〇一七〇一
当日はバスの送迎がありますので、御利用の方は、那覇市楚辺のNTT楚辺ビル構内に午後一時までに集って下さい。一時三〇分に出発します。

■連絡のない方は出席しないものとします。



2000年新会員ご紹介

(会員数 399名 2000年8月15日現在)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|-------|----|-------|----|-------|-------|----|----|-------|----|-------|-------|----|----|----|----|----|-----|----|
| 25 | 24 | 23 | 22 | 21 | 20 | 19 | 18 | 17 | 16 | 15 | 14 | 13 | 12 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 宮城 | 新良 | 稲福 | 村吉 | 末吉 | 宮城 | 照屋八重子 | 湧川 | 玉城健次郎 | 細工 | 川満 | 宮城 | 古堅 | 山城 | 桃原 | 山城 | 普天間吉夫 | 富山 | 鳥袋 | 照屋 | 湧上 | 大城 | 宜保 | 石原 | 神里 |
| 一夫 | ハツ | 勝 | 正常 | 淳也 | 功 | 朝善 | 朝善 | 朝善 | 忠朗 | 光栄 | 正治 | 博 | 洋子 | 英吉 | 安子 | 勝男 | 賀助 | 恒 | 和江 | 昌子 | 定則 | 好子 | マサ子 | |
| 49 | 48 | 47 | 46 | 45 | 44 | 43 | 42 | 41 | 40 | 39 | 38 | 37 | 36 | 35 | 34 | 33 | 32 | 31 | 30 | 29 | 28 | 27 | 26 | |
| 中原 | 玉城 | 緑間 | 又吉 | 中園 | 遠山 | 照屋喜久代 | 田盛 | 下里 | 幸地 | 具志堅文男 | 桑江千鶴子 | 大田 | 大城 | 伊志嶺泰一 | 屋良 | 山入端幹男 | 玉那覇有光 | 玉城 | 金城 | 津波 | 上間 | 高良 | | |
| 盛輝 | 保徳 | 光枝 | 信篤 | 吉恵 | 時恵 | 正英 | 貞子 | 隆 | 隆 | 文男 | 鶴子 | 好子 | 次夫 | 澄子 | 澄子 | 長正 | 義健 | 正 | 豊次 | 洋 | 清 | | | |

新入会員の 歓迎会へのお誘い

昨年は参加者が少ないとの理由で中止しましたが、今年には新入会員が四九名で是非、催しての声があり開催することにしました。

例年旧八月十五日の中秋の名月を眺めながら交流しようとの趣旨で始めましたので、旧八月一六日に決めました。

新入会員、皆さん全員の参加をお待ちしています。

●場所

NTT会館プラザでいご
那覇市楚辺一四一四一
☎八五五五七四一

●日時

9月13日(水)
午後6時30分

●会費

新会員 千円
会員 二千円

●連絡先

☎八七〇一七〇一
出席の可否は、電話かハガキで九月六日水曜日の午後三時までをお願いします。連絡のない方は不参加とします。



第十一回 長崎平和フォーラム に参加して

浦浜清治



人類の過ちの歴史や原爆被爆、戦争体験を風化させることなく、正しい歴史を後世に語り継ぐことにより組合員、家族の反核兵器、反戦平和の意識高揚を図ることを目的に情報労連中央本部、情報労連長崎県協議会共催の第十一回長崎平和フォーラムは全国から約六百人の参加のもとに被爆地長崎市で開催された。

沖繩からはKDD労組、NTT労組退職者の会、電済労、全国通連の組合員にその家族と、先に長崎入りしていた屋良泉支部委員長を含めた総勢四一人が参加した。

八月七日、台風八号に追われるように早朝の便で福岡経由で長崎へ着いた。午後三時半から地元組合員の案内で浦上天主堂を始めとした原爆遺構巡りをして五時からの慰霊の集いに臨んだ。

集いは原爆で亡くなった通信労働者の慰霊碑の前で全員が黙祷の後、献花して犠牲者の冥福を祈った。

二日目の八月八日は長崎ビューホテルの大ホールで集会を開いた。六歳の時に長崎で被爆した安井幸子さんの体験談に感動し、「三度許すまじ原爆を世界の上に」を誓い合った。

午後二時から長崎ブリックホールに移り「二〇〇〇連合平和ナガサキ集会」へ参加

した。日本原水爆被害者団体協議会代表委員で被爆者でもある坪井直氏は体験談の中で「被爆後、助けを求めて集まって来た被爆者の所に軍隊のトラックが来た。しかし、戦争に役立つ、いたって元気な若者だけを連れて行った。腹がたち、それが原点で平和運動をするようになった」と。

旧満州(中国東北部)でも関東軍は居留民を見捨てて多くの中国残留孤児の悲劇をつくった。沖縄戦でも住民から食糧を強奪したり、壕から住民を追い出したりした。即ち、軍隊は住民を守らないと言うことです。

そして戦後、米軍は農民の命である土地を銃剣とブルドーザーで強制収用して東洋一と言われる巨大な軍事基地を建設した。

そこで、基地あるが故の事件、事故が後をたたない。数年前には忌むしい事件が起き、八万五千人が県民大会に参加して日米両政府に抗議した。五ヶ月前にはまた、米兵によるわいせつ事件が発生している。即ち、平和時にあっても軍隊は住民の人権を守らないと言うことです。

昨年、自民、自由、公明の

連立政権は①ガイドライン法 ②傍聴法 ③国旗・国歌法を成立させた。今年は憲法九条をターゲットにした憲法調査会を設置した。そして森首相の「神の国」発言。正に何時か来た道を歩み始めている。平和は黙っていても与えられないことを歴史は教えている。広島・長崎の平和集会は盛りあがった。

山入端氏記録を更新

去った六月三日の定例ゴルフ会でこれまで稲嶺会長が保持していた記録を山入端氏が破った。記録は二年間破られなかった。がやはり「記録は破られるためにある」との言葉通りついに更新されました。記録は「ゲームのトータルで二七でしたが、新記録は二六。ホールインワン一つを入れての快挙でした。会員の皆さん、山入端氏の記録に挑戦してみても如何ですか、振るって参加して下さい。集りましょう。楚辺の中央公園に第一、第三土曜日午後一時三〇分プレイ開始です。

労金総会の報告

沖繩県労働金庫の第35期の総会が二〇〇〇年六月二十六日(月)、那覇東急ホテルで開かれました。今期の私たち会への利用度配当金は昨年より増え二四、九一四円でした。労金運動に参加してよかったと言える成果が得られる様、今後とも努力していきたいものです。

NTT労組の第四回支部委員会終了

二〇〇〇年七月二十八日「サ

会員の皆さん 選挙協力ありがとうございます

去った県議選及び衆議院議員選に対して皆さんの御協力ありがとうございました。結果は比例代表では躍進しましたが、選挙区では二区、三区とも敗れ残念でした。捲土重来を期して次の選挙に備えて頑張りましょう。

広島・長崎のピース フォーラムへ 代表を派遣する

八月五日～六日の広島ピースフォーラムへ山入端立美事務局次長が出席。八月七～八日の長崎平和フォーラムへ浦浜清治副会長を派遣しました。

計報

NTT労組の当真嗣正執行委員が七月二十七日急逝されました。謹んで御冥福を祈ります。

